

学校教育目標	「かしこく やさしく たくましく」		
--------	-------------------	--	--

a ミッション	地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の発展	a ビジョン	地域や教職員が自校や地域に誇りが持て、地域から信頼される学校 めざす子供像 ○ 自ら考える子 ○ 思いやりのある子 ○ あきらめない子
---------	----------------------------	--------	--

尾道市立瀬戸田小学校

評価計画					自己評価				学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	主体的な学びの推進	アンケートの実施（前期）、国語科の学習にて全学年でループリック評価（後期）を実施し、児童の「振り返り」を充実、分析する	アンケートの肯定的評価、ループリック評価B以上の割合	80%	75%		80	B	・子供達が主体的に学びに取り組めるよう、全校共通で意欲や課題を感じる活動を設定し、単元を計画した。自分の意見を積極的に伝えたり、友達と協働的に学ぶ姿が見られた。 ・全体的な傾向として、対話を通して、情報を比較・分類したり、関連づけたりしながら考ようとする意識が高まっている。	3			・達成値が伸びています。自分の思いを進んで表現する児童が増え、話し合い活動が充実していきますように。 ・たのしく興味をひく授業は自ずと児童の「その先をもっと学びたい」という意欲につながるといいます。 ・結果及び改善計画に期待しています。主体的な学びになるように頑張ってください。	・児童が根拠をもって意見を形成したり、進んで自分の思いを表現したりできるように、児童の意欲を高める課題設定を引き続き行い、思考ツールや話し合い活動を充実させていく。 ・児童につけたい「根拠をもって表現する力」をもとに、各単元のめざす姿を具体的に設定し、主体的に学びに取り組む姿を育てる。
				100%	-		90	B						
豊かな心の育成	落ち着いて学校生活を送ることのできる雰囲気	学習規律の定着 授業開始・終了時の立腰・挨拶の統一と徹底	授業開始のチャイムまでに着席・整列している児童の割合	100%	84%		84	B	・全体的にどの学年も時計やチャイムを意識して行動できる児童が多くいる。また、委員会の放送も忘れず行っていたり、休憩前に教師が声をかけたりすることで児童の意識付けになっている。	3			・ウィズコロナ恵学校の生活様式や規律も今までどおりには難しい面もある。教師の声かけが児童には意識づけになっているように担任と児童との信頼関係をより築く取組になるといいます。 ・時間を守る取組はとっても大切だと思います。	・取り組み期間だけでなく、日頃からチャイム席が当たり前になるよう指導を継続していく。 ・規則正しい生活習慣確立の継続した指導も行っていく。
				80%	79%		99	B						
健やかな体の育成	自ら健康な体を維持するための生活習慣の定着	自ら進んで体力づくりを行う児童の育成	外遊びとサーキットレーニングを1週間に5回以上行った児童の割合	80%	68%		85	B	・80%を達成した学年は2学年であった。全校が同じDVDを見ることで、各運動のレベルに合わせた動きを児童に意識させることができた。運動が苦手な児童も、「これならできるかも。」と意欲を持たせることができた。 ・教職員が各学年に合った体力づくりを見通して、積極的に児童へ声かけを行っていくことが必要である。	3			・校内統一したDVD「瀬小っ子サーキット」を活用して運動好きになるきっかけと外遊びも活発になるといいと思います。	・2学期は各サーキットのレベルをいよいよ紹介・実践し、定着・活用をめざしていく。各担任が、単元に関連する運動を選択して行うことも意識していく。 ・各学級でレク係を中心に休憩時間の外遊びを仕組んだり、担任が読書・教室・運動場と児童と積極的に関わる場を作ったりしていく。
				90%	96%		107	A						
学級類づけられる	学校の情報公開の推進	毎月のホームページ更新（学年のページを充実させる） ・全学年でふるさと学習の実施	毎月のホームページ更新の割合 ・年2回以上のふるさと学習の実施	100%	100%		100	A	・毎月のホームページの更新を行い、コロナ下の新しい生活様式に基づいた、授業や生活の様子について情報発信を行った。また、職員室前の掲示板にHPの写真を掲示して、児童にも自分たちの様子をフィードバックしている。 ・ふるさと学習については、校外学習や講師招聘の自費により、1学期は課題設定や調べ学習までの進捗である。2学期から、感染予防に留意しながら学習を進めていきたい。	3			・写真が豊富なHPで様子が伝わります。インターネットを使ったりリモート化が進み、授業や学習の仕方も変わっています。IT技術を学ぶ機会が増えるといいですね。	・ICTが得意な教職員だけではなく、月末のルーチンとして、誰でも簡単にHPにアップできるようにシステム化し、計画的に学年のHPの充実を図っていききたい。 ・安全第一に、今の学校生活様式で可能なふるさと学習を工夫しながら進めていく。講師招聘ありきではなく、インターネットやアンケート等、間接的に関わりが持てる授業形態を工夫する。

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。